

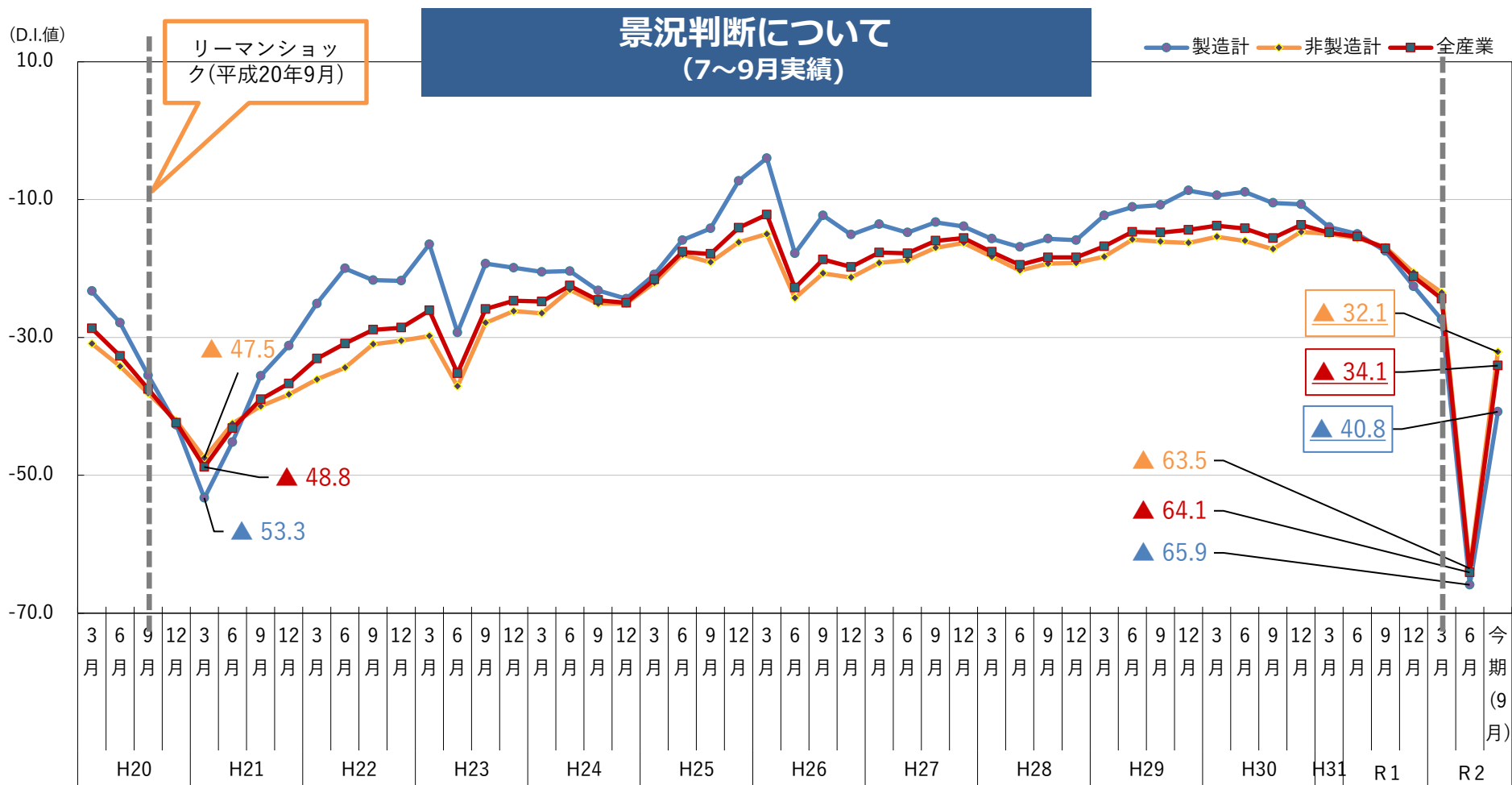
新型コロナウイルス感染症に係る報告・関連情報について (令和2年9月調査)

報告書 (概要抜粋版)

- | |
|--|
| <p>(1) 調査報告 (概要) P. 2</p> <ul style="list-style-type: none">・ 「令和2年度第2四半期分景気見通し調査」 (調査時期：令和2年9月)・ 「緊急！新型コロナウイルスによる影響調査」 (調査時期：令和2年9月) |
|--|

景況・業況の動向について

○ 全産業で▲34.1（前期より30.0増）、製造業で▲40.8（前期より25.1増）、非製造業で▲32.1（前期より31.4増）となった。いずれの産業も過去最大の下げ幅となった前期から一転し過去最大の上げ幅となり、持ち直しの動き。



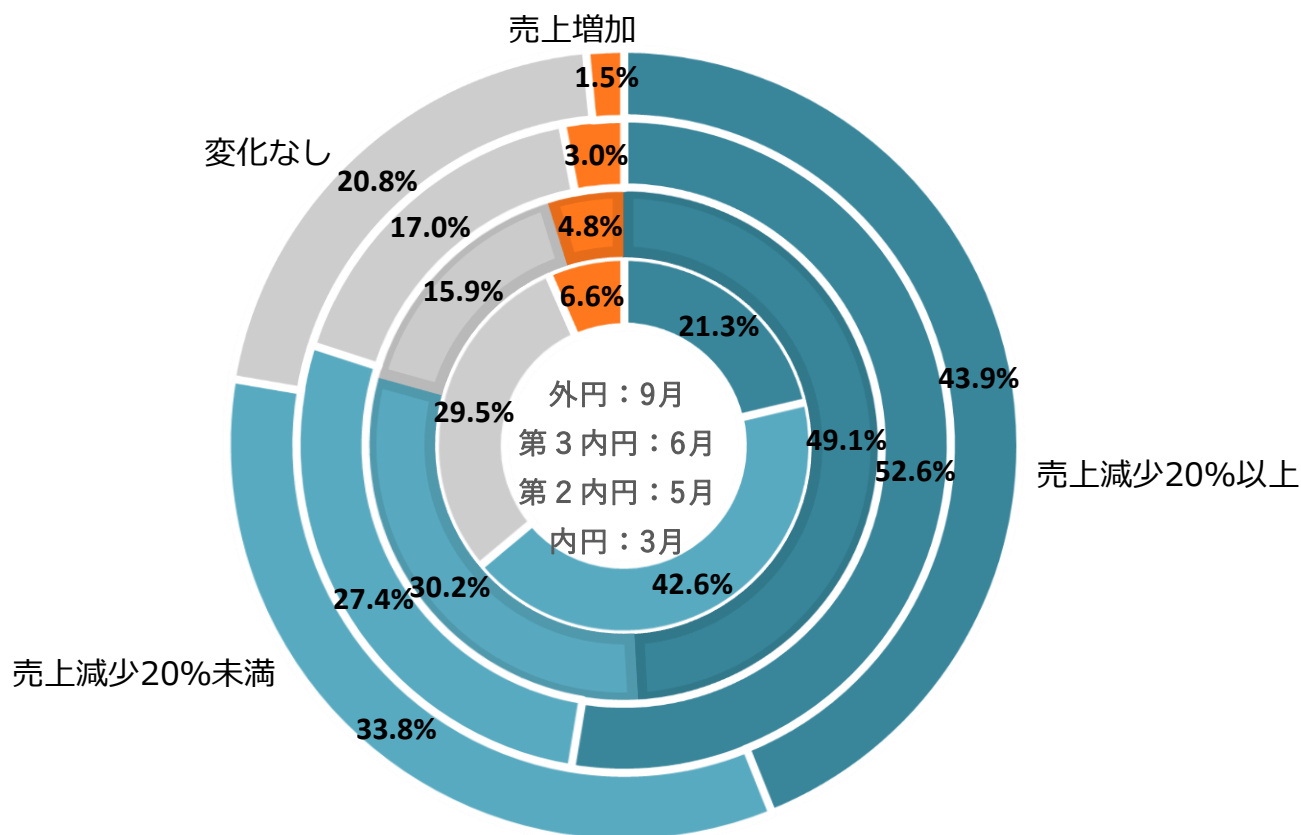
(注) 業況D I：前期（2020年4-6月期）と比べ、【好転】、【不変】、【悪化】の3択で質問し、【好転】割合から【悪化】割合を差し引きし、季節調整を行った値

(出所)「第161回中小企業景況調査」：中小企業庁・中小機構

前年同月比（9月）の業績影響について

○ 昨年同期と比較し、売上減少全体は77.7%で前回5月調査の80.0%とほぼ同一ではあるが、「20%以上売上減少」との回答が、前回6月時より8.7ポイント減少の43.9%となり、影響の幅が弱まっている。

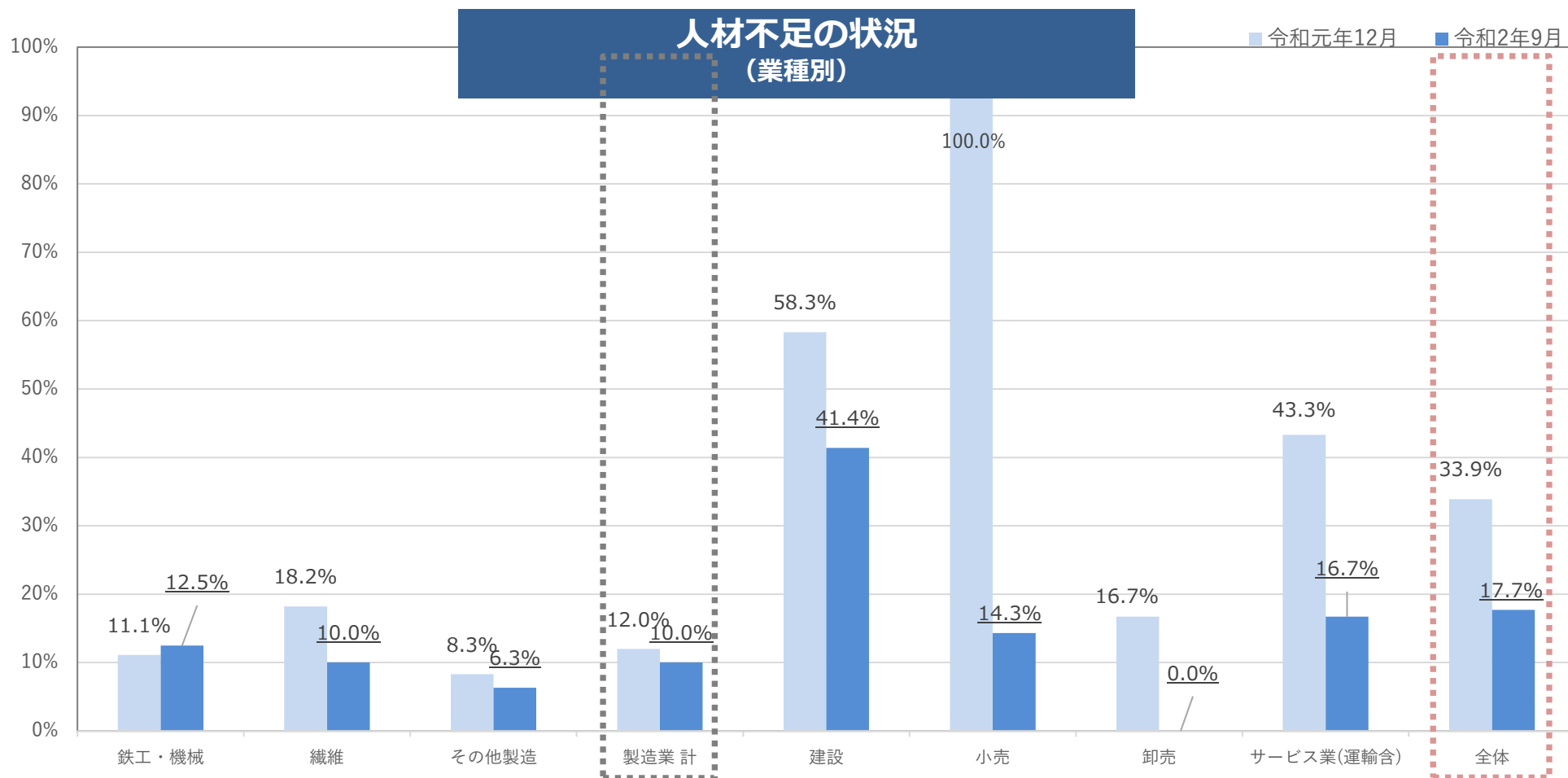
コロナウイルスによる売上減少について (前年同月比の業績影響の推移)



(出所)「緊急新型コロナウイルス影響調査(3月：128社)」、「新型コロナウイルスによる影響調査(5月：131社)」、「緊急新型コロナウイルスによる影響調査(6月：140社)」、「緊急！新型コロナウイルスによる影響調査(9月：133社)」いずれも小松商工会議所

現在の雇用状況について

- 前回調査と比べ、製造業はあまり変化がないが、その他の業種では人材不足感は薄まっている。
- 建設業では引き続き人材不足状態が続いている。



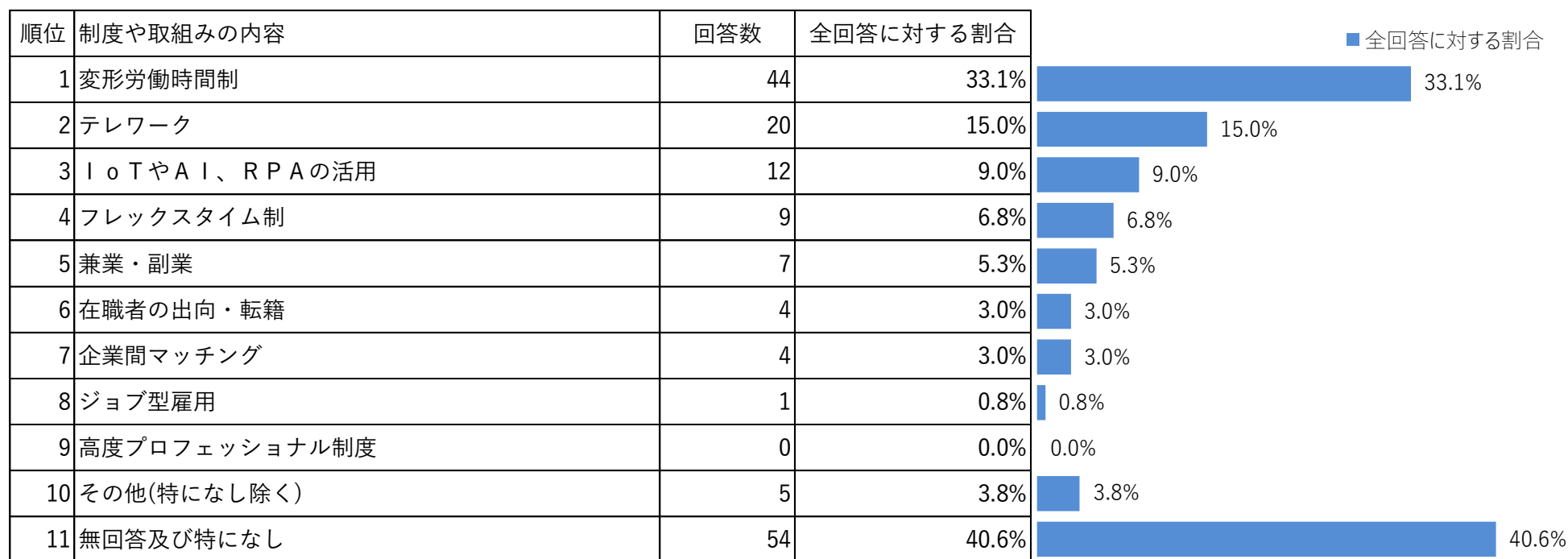
(注) 現在の雇用状況について(※1)、人材の充足状況について(※2)に対する回答。

(出所) ※1 「景気見通し調査」(2019年12月: 115社)、※2 「緊急! 新型コロナウイルスによる影響調査(9月: 133社)」

ウイズコロナを見据えた雇用・働き方について

- 「変形労働時間制」が33.1%と最も多く、「テレワーク」15.0%、「IoTやAI、RPAの活用」9.0%と続く。
 ○ その他では、「会議人数の縮小」、「残業の削減」、「自宅待機」、「在宅」などの回答があった。

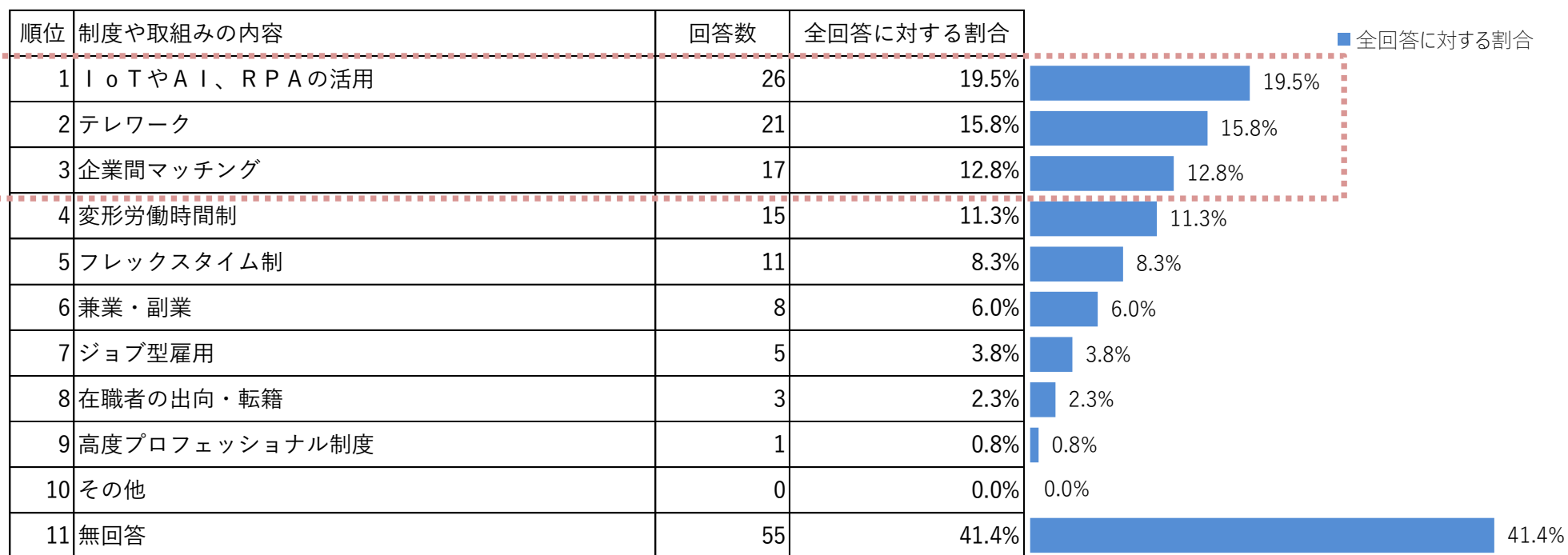
現在実施している制度や取組 (複数回答可)



(出所) 新型コロナウイルスによる影響調査 (9月 : 133社 n=160)

- 「IoTやAI、RPAの活用」が19.5%と最も多く、業種では繊維、鉄工・機械、運輸業の関心が高い。また従業員規模が大きい企業は、その関心が高い。

今後実施したい制度や取組 (複数回答可)

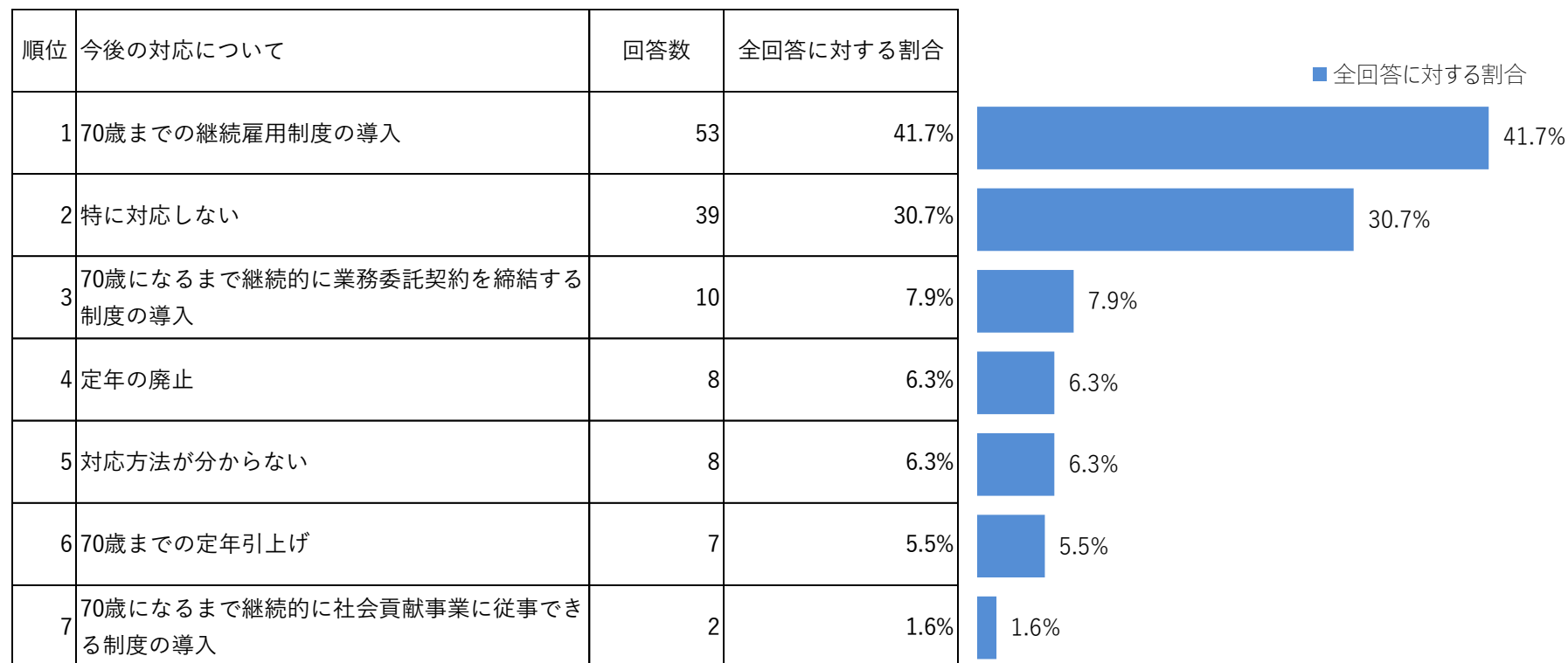


(出所) 新型コロナウイルスによる影響調査 (9月 : 133社 n=162)

改正高齢者雇用安定法に対する対応について

○ 「70歳までの雇用継続制度の導入」が41.7%と最も高く、業種では、繊維60.0%、運輸57.1%、卸売50.0%。従業員規模では、201名以上が62.5%、21名～50名が51.4%と高かった。また、「特に対応しない」回答した業種では、飲食・宿泊が50%、従業員規模では、101～200名が83.3%、5名以下が63.6%と高かった。

今後実施したい制度や取組 (複数回答可)



(出所) 新型コロナウイルスによる影響調査 (9月: 127社 n=127)